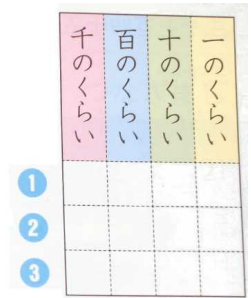
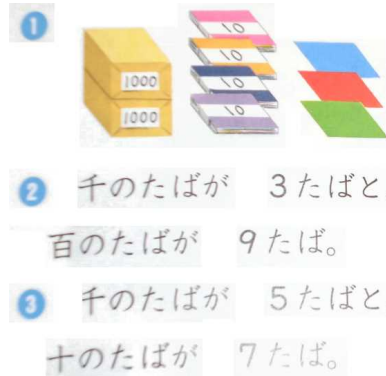


協同学習×2年算数「10000までの数」

カードを使って大きな数づくりを行いました。ゲーム的要素と協同学習を組み合わせることで、数への理解を深めました。(太文字が、協同学習に関わる部分)

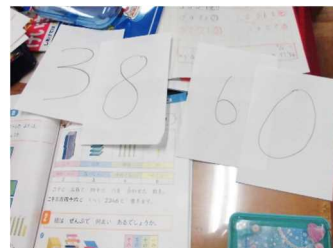
■授業の流れ

- 紙は全部で何枚あるでしょうか。
 - ①を全員で行う
 - ②③を班で行う。
 - 「ラウンドロビン」で答えを発表する
 - 教師のところに答え合わせに来る



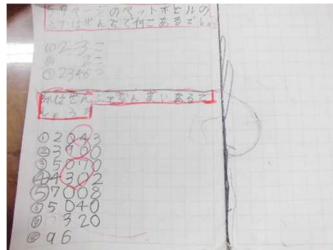
2. 10000までの数づくり

- 班ごと用紙(A4サイズの1/4)に、1~0までの数字を別々に書く。
- 一人ずつ順番に紙を取り、各位に当てはめる。 千 百 十 一
- 組み合わせた数をノートに記録する。 4 6 3 8



3. 大きさをくらべ

- 自由に立ち歩き、他の班の子と出会ったらジャンケンをする。
- 勝った子が、何番目に作った10000までの数を比べるか番号を指定する。
- 大きさを比べて、大きい数の方が勝ち。以下繰り返し。



ラウンド=ロビン

- クラス全体に質問を与える
- 一人で考える
- グループ内で順番に考えを述べる
(ほぼ同じ時間を使って：平等性)
- クラス全体で話し合う

